

「線状降水帯の現状と予測可能性」

～線状降水帯などの大雨から命を守る行動とは～

日時 令和5年**3月1日**(水)13時00分～16時30分

場所:オンライン開催(YouTube ライブ配信)

参加方法:無料、事前申し込み不要

*視聴方法は裏面をご覧ください



日本各地で記録的な大雨により甚大な災害が毎年のように発生しており、「線状降水帯」の名前を報道等で聞くことが多くなりました。

講演会では「線状降水帯」とは何か、「線状降水帯」の予測可能性、また、線状降水帯などによる大雨から命をいかにして守るかについて3人の専門家に語っていただきます。

講演会はYouTubeによりライブ配信します。ぜひ、ご視聴ください。

講演プログラム



線状降水帯の特性と形成メカニズム

京都大学防災研究所教授

竹見 哲也

講演 13時10分～14時10分



線状降水帯の予測精度向上に向けた気象庁の取り組み

大阪管区気象台長

横田 寛伸

講演 14時15分～15時15分



気象災害と住民避難のあり方について

人と防災未来センター主任研究員

河田 慈人

講演 15時25分～16時25分

主催 神戸地方気象台 人と防災未来センター

講演者紹介



竹見 哲也(京都大学防災研究所教授)

1999年、京都大学大学院理学研究科博士課程修了、博士(理学)。同年、大阪大学助手。2004年、東京工業大学講師。2007年、京都大学防災研究所准教授。2021年より京都大学防災研究所教授、現在に至る。専門は、気象学、特に台風・豪雨・強風など極端気象の発生過程や形成メカニズムの研究、大気乱流や拡散など微細規模現象の解析とモデリング、気象災害への気候変動影響の予測、都市の大気環境と気象災害の研究。気象庁数値予報モデル開発懇談会委員、気象庁線状降水帯予測精度向上ワーキンググループ委員、京都市環境影響評価審査会委員など。



横田 寛伸(大阪管区気象台長)

香川県の出身。昭和63年気象大学校を卒業後、大阪管区気象台予報課に配属。平成24年4月に気象庁気象衛星整備計画官、平成25年4月に気象庁気象衛星運用事業管理官、平成27年4月に気象庁情報管理室長、平成29年4月に大阪管区気象台気象防災部長、平成30年4月に気象庁気象衛星課長、令和3年4月に気象庁参事官を歴任し、令和4年4月大阪管区気象台長に着任し現在に至る。



河田 慈人(人と防災未来センター主任研究員)

京都大学大学院情報学研究科社会情報学博士課程(指導認定退学)在学中に京都大学防災研究所巨大災害研究センターにて研究に従事、また、英国オクスフォード大学院及びロンドン大学ユニバーシティカレッジロンドン大学院へ留学。平成30年4月より人と防災未来センター常勤研究員、令和3年4月より現職。現在、学校や地域住民・自治体とともに、避難所運営マニュアル作成・立ち上げ訓練の実施、社会全体で地域の防災・減災を考えるワークショップや地区防災計画の作成に取り組む。兵庫県学校防災アドバイザー・神戸市学校防災アドバイザー・和歌山県防災教育推進委員・枚方市防災会議委員・大阪信愛女学院短期大学・兵庫教育大学大学院などで委員や非常勤講師を勤める。

視聴方法

防災気象講演会はYouTubeによりどなたでも無料で視聴できます。

視聴は下の講演会特設ページからお願いいたします。

講演会特設ページは神戸地方気象台ホームページからもご覧になれます。



兵庫県防災気象講演会 特設ページ

<https://www.data.jma.go.jp/kobe-c/kishoudai/kouenkai/kouenkai.html>

問い合わせ先

神戸地方気象台 防災管理官室

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-3 神戸防災合同庁舎

TEL : 078-222-8907

※土・日・祝除く 9時~17時



気象庁マスコット
「はれるん」